

★保護者のため、『夜に馬区ける』(YASOBI小説集)を図書室に寄付していた
にまつた。しかも、ジャケット違いで2冊も!!

元祖 モリモリ書店

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校、読書だより 今日屋から貸し出しの便利

第43話 R02.09.25(金)
「立ち止まったからこそ
実感できたこと。」

★今回、紹介する本は、『たちどまって考える』(著/ヤマザキマリ、出版/中公新書ラクレ)です。

『テルマエ・ロマエ』や『オリンピア・キュクロス』などで有名な漫画家であるヤマザキマリさんがコロナ禍で感じたことを語っている1冊。

イタリアに家族がいるヤマザキさんはコロナの影響により、離ればなれに暮らし、一人で日本に残ることに。その暮らしの中で感じた、「イタリアと日本の文化の違い」や「コロナ禍で見てきた日本人の強さや弱さ」について、著者独自の切り口で語っていきます。

イタリア人と日本人の暮らしや行動を比較することで見えてくる、それぞれの価値観、そして文化(英語の授業にも通じますね)。それらを知り、自分自身を見つめ直すことで、次に進むべき一歩が見えてくる。あたりまえを疑う目を持ちたいです。

たちどまって
考える



ヤマザキマリ
漫画家・文筆家



中公新書ラクレ

世界派の漫画家は「強制停止」の日々で何を見出した?

ベストを経てルネサンスが開花したようにまた何かが生まれる?

不確実・不条理な明日を進むために必要なものは?

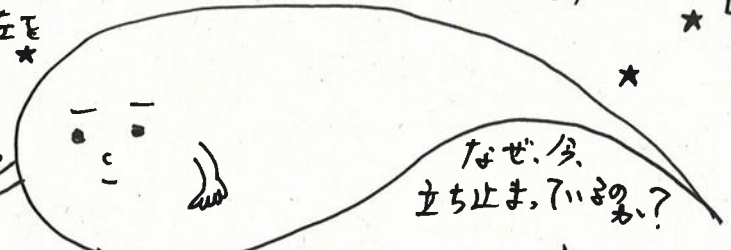
また歩く、
その日のために

タイトルとカバーの絵が、とてもいい。



★「実は自分という存在は、
★ 考えているよりもずっと
★ からこ悪く、恥ずかしい★
★ 生き物なのかもしれない★
(P.234)」

自分の存在を
見つめ直す
糸色好のチャイ。



なぜ、今
立ち止ま、いるの?

★ また歩き始める、その日のために
(P.6)」